

武蔵野 市議会だより

No.308

MUSASHINO
MUNICIPAL
ASSEMBLY

発行日：平成15年(2003年)11月1日
発行：武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直) 0422-55-7555

E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp HomePage <http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html>

第3回市議会定例会閉会

9月2日から開かれた第3回定例会は、9月26日に閉会しました。
今議会では、平成14年度の決算の認定や、大野田小学校改築に伴う契約4議案、武蔵野クリーンセンター粗大ごみ処理施設更新工事請負契約、ホワイトイーグルの時間延長を含む補正予算、外環道路特別委員会の設置、食品安全基本条例(仮称)制定に関する意見書等の議決のほか、19人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました。
また、9月5日に、用途地域等の見直しに関する市原案について、全員協議会が行われました。

大野田小学校改築に伴う契約を議決

九月十七日の本会議で、武蔵野市立大野田小学校改築工事請負契約とそれに付随する電気設備工事、空調換気設備工事、給排水衛生設備工事の各請負契約四議案が全会一致で可決されました。

大野田小学校は、平成十二年に実施された耐震診断で問題があることが判明し、全面改築が決定されました。同年九月、議会に対して全面改築の方針が説明され、市は十月に改築基本計画

画検討委員会を設置し基本計画の検討に着手、また設計者選定委員会を開催し、プロポーザル方式により設計者を選定しました。十四年七月には仮設校舎が完成、児童の移動が完了し、同月提出された検討委員会最終報告を受け、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上五階地下一階の全館バリアフリー構造で工期十八カ月とする実施設計が出されました。

今回の改築工事請負契約の契約金額は約二十二億三千百万円、工事費の平米単価は約十八万円です。

審査では、耐用年数を百年とする場合の保証期間等特約のあり方、千川小改築工事との平米単価比較、品質管理の方法等についての質疑がありました。

プロポーザル方式：建築の設計者選考において、原案を提出させ、説明を受けた上で決定する方式。

平成十四年度決算を認定

平成十四年度の決算が九月二十六日の本会議で賛成多数で認定されました。
「平成十四年度武蔵野市決算の認定について」平成十四年度武蔵野市水道事業会計決算の認定についての二議案については、決算特別委員会を設置し、実質四日間にわたり、審査を行い、二十四日の最終日に賛成多数で認定されました(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)。

長が委員会での審査経過の報告を行い、それに対する質疑の後、日本共産党武蔵野市議団の代表、会派に属さない三宅英子議員が平成十四年度武蔵野市決算の認定については反対し、「平成十四年度武蔵野市水道事業会計決算の認定については賛成、市民の党の代表が両議案に反対、市議会公明党、市議会市民クラブ、民主・市民ネット、自由民主クラブの代表が両議案に賛成の討論を行いました。この後、両議案は賛成多数で認定されました。

決算特別委員会 審査概要

委員11名からなる決算特別委員会は9月17日に設置され、同日正副委員長を選出しました。決算の審査は、9月18日から24日までの実質4日間で行われました。一般会計及び4特別会計の歳入決算総額、863億7,534万7千円、同歳出決算総額、837億813万3千円で26億6,721万4千円が翌年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入及び支出は、収入35億2,013万3千円、支出32億3,559万3千円で、差し引き2億8,454万円(消費税等控除後)の純利益となりました。

以下は各委員から、昨年度の予算執行について議論が行われた決算特別委員会の審査概要です。



市民の安全を守るホワイトイグル。今議会で補正予算も可決され、時間延長されます。

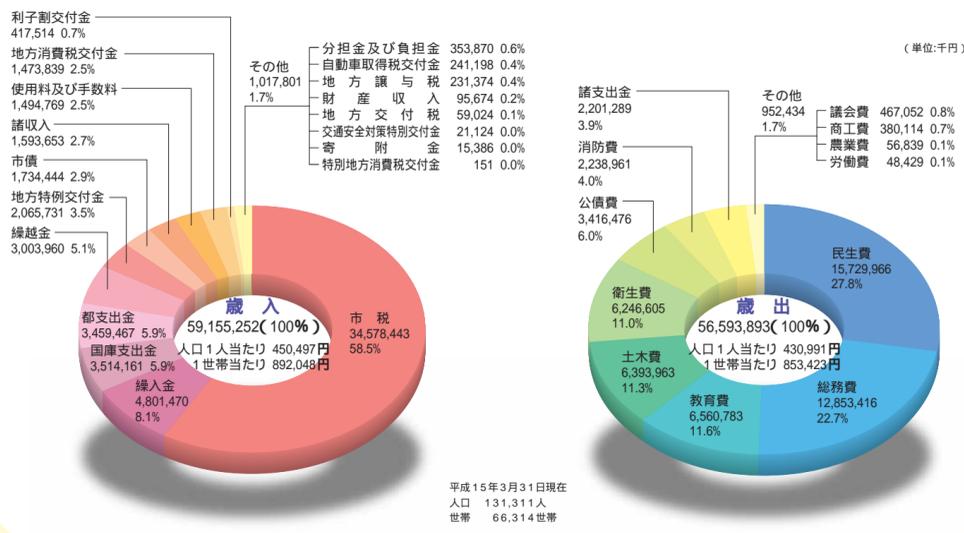
問 少年数指導や習熟度別授業は、児童・生徒の差別や選別につながることはないのか。
答 学習内容によってはこれらの指導の方が学力が定着し理解が進むと考える。あくまでも、一人一人の能力や可能性を伸ばすための手段だ。

問 男女混合名簿の導入を進めていくべきと考えるが所見は。
答 本来は、児童・生徒を安全管理等の目的で掌握するためのものであり、校長の自主的な判断に任せている。

問 学校週五日制により土曜日の過ごし方も多様化したと考えるが保護者の意見はどのようなのか。
答 家族の触れ合いが増したなどの意見の一方、学力低下を心配する声もある。本市で用意している土曜学校等で一層の充実を図ってきたい。

問 小・中学校の教職員に対するコンピュータ研修の実施状況を伺う。
答 夏期に集中的に行っており、

平成14年度一般会計歳入歳出決算額内訳図



充実した学習指導を求める

介護支援事業の内容は

問 家族介護支援事業として、何を行ったのか。
答 「排泄が変われば生活が変わる」という講座を開催した。

問 最も給付の多い場合、介護保険からはいくら支払われるのか。
答 月額三十七万円程度である。

問 介護保険料収納率が最も低い第一段階に対して保険料の減免は考えられないか。
答 考えていない。

介護保険事業会計

問 操作できる者が六十六%、コンピュータを使って教材指導できる者が三十五%である。今後割合を高めたいか。
答 生徒の両親を対象に、食の教育をする考えはあるのか。
答 今後研究していきたい。

総括質疑

バランスシートの市民周知を

問 バランスシート等を周知し、財政状況に対する市民理解を得ながら政策を進めるべきではないか。
答 市報等で工夫しながら積極的にPRしていきたい。

問 中学校給食を施策として実施しないのはなぜか。
答 ランニングコストが毎年三億円程度と予測されるため、市長の一度で定める性格のものではない。

問 行政評価・事業評価にNPO等の第三者評価を入れる考えは。
答 今の時点では考えていない。

問 事業立ち上げの際は構想段階からさまざまな市民が参加し、利益調整できるようにしてほしい。
答 各種の手法による市民参加に、ユニバーサルデザインのま



近藤 和義
決算特別委員長

審査した特別委員

平成14年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

近藤 和義	小野 正二
やすえ清治	鈴木 有臣
梶 雅子	砂川なおみ
山本ひとみ	山下 倫一
川名ゆうじ	
桑津昇太郎	

印：委員長
印：副委員長

歳入

税の収入未済額が増加した理由は

問 税の収入未済額が増加した理由及びその対策について伺う。
答 会計方法の変更による影響のほか、景気の悪化により、今年度滞納していた方がさらに現年度分を納税できないため滞納が増加している現実がある。今後も財産調査等を充実させていきたい。

問 庁内の現金取り扱い体制はどうなっているのか。
答 監査委員とは別に、収入役が庁内及び小・中学校の会計事務検査を毎年行っている。

問 軽自動車税の収納率が突出して低いのはなぜか。初めに数年分まとめて払ってもらうなど、徴収方法の工夫ができないか。
答 徴税経費が税金を上回っている状況はあるが、五年分くらいを初めにまとめて徴収するということについては、法理上難しい。

問 生活苦で市民税を滞納している人に減免等対応できないか。
答 家庭の状況によっては延滞金を減免する制度があるので、裏づけ調査をしながら対応している。

総務費

補助金出資団体への祝金見直しを

問 補助金を支出している団体への祝金等は廃止すべきではないか。
答 補助金は団体の本来的な運営のためのもので、行事等に実費相当分を別に支出することは合理的だ。

問 市民文化会館のランニングコストと使用料収入はいくらか。
答 ランニングコストが約四億一千万円、使用料収入が約六千八百万円である。

問 今後、どのような指針を持つて男女共同参画を進めていくのか。
答 性差による不当な差別は払拭すべきだが、性差に応じた役割分担はお互いを尊重しながらしっかりとやるという思いが大事だ。

問 改修後の富士高原ファミリロッジの利用状況を伺う。
答 利用件数は二百六十六件で前年比約三倍、延べ人数も三千四百六十一人で、六倍に伸びている。

問 旧中央図書館で行った武蔵野アートプロジェクトの参加人数は。
答 公募プロジェクトへの応募が四十一名、市民参加プロジェクトの参加者が九百三十人、会場を訪れた参加者が約千五百人であった。

衛生費

小児医療体制の充実策は

問 市内の小児医療体制の充実策について伺う。
答 一、二次医療では夜間に小児科医不在の場合もあるため、日赤の小児科医を二名ふやし強化した。

問 三鷹武蔵野保健所の存続へ一層の努力をしていただきたい。
答 市長の取り組みを待ちたい。

問 誕生月の受診となった老成人健康に対する市民の反応は。
答 肯定的な意見が多かった。

問 ごみ収集における収集業務委託と直営の割合について伺う。
答 資源ごみはすべて委託、可燃・不燃は直営十に対し委託が十一だ。

問 回収した食用油をディーゼル燃料として使用してはどうか。
答 今のところ検討していない。

問 高齢者インフルエンザ予防接種事業の執行率が低い理由を。
答 平成十三年開始の事業で、接種率予測がつかなかったためだ。

土木費

吉駅南口暫定広場の進捗率は

問 吉祥寺駅南口暫定広場事業の進捗率はどのくらいか。
答 用地買収の進捗状況は現在二十一%である。

問 一人にやさしいみちづくり事業の評価と今後の方向性を伺う。
答 有効と考える。ポラード設置の際は住民とよく協議した。

問 雨水浸透ますの助成件数は。
答 十件で四十二基設置された。

問 吉祥寺駅周辺の違法駐車防止指導による効果について伺う。
答 実施当時百八十一台あった違法駐車数が、平成十四年度には八十六%減少し二十五台となった。

問 太陽光発電設置の助成件数と一軒あたりのワット数を伺う。
答 申請件数三十件で、一軒あたり平均三、五千ワットである。

問 高層ビルエレベーター設置の基準はどのようになっているか。
答 設置にあたっては公園面積が五千平米程度は必要と考える。設置の際は近隣よく調整している。

問 森林整備事業について伺う。
答 二俣尾の山林で市民や児童・生徒と自然体験等を行い、自然環境や林業に対する理解を高める事業だ。

民生費

シニア活力アップ、計画どおりに執行されなかったのはなぜ

問 シニア活力アップ推進事業が当初計画どおりに執行されなかったのはなぜか。
答 不老体操など、健康施策全体のの見直しも含めた検討委員会を設けたため、執行が遅れた。

問 生活保護にいたる主な原因は何か。また、ふえ続ける扶助費への対策はあるのか。
答 倒産やリストラ、自己破産が主因である。生活保護は憲法に基づいて国でのファイナリティで市に裁量の余地はない。

問 給水原価を上げないための取り組みについて伺う。
答 給水原価の主体を占める受水費を抑えるために、自己水を有効に取水するよう努める。

問 今後の企業債発行見込みは。
答 舗装管取りかえを二十一年度から四年度に執行すると毎年三から四億円起債することになる。

水道事業会計

給水原価を上げないためには

問 給水原価を上げないための取り組みについて伺う。
答 給水原価の主体を占める受水費を抑えるために、自己水を有効に取水するよう努める。

問 今後の企業債発行見込みは。
答 舗装管取りかえを二十一年度から四年度に執行すると毎年三から四億円起債することになる。

監査意見書

一般会計 四特別会計

審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証拠書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

歳出構造の硬化化が進行しており、今後、行政サービスをこのように内容と水準に置くかということについて、市民のコンセンサスを得ることが大変重要になることと想定される。

支出事務の一部が担当課に移管された後、定期監査における指摘件数が相当増加している。継続的な指導体制の確立等、実効性の伴った措置を講じられたい。

審査に付された決算諸表は、地方官営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また、決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 鈴木 昭司
寺山光一郎

まだまだ割れる税金のむだ

山本ひとみ議員(反対)

市民の党を代表し、2002年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算の認定に反対する。市民の負担を減らし生活と雇用を守ることが必要とされていたにもかかわらず、入札制度改革・補助金支出の見直し等は十分進まず、市長交際費や市制施行55周年事業等のむだ使いが是正されなかったこと、農水省跡地や大野田小学校建てかえ等の公共施設建設における構想段階での市民参加が不十分であったことにより反対する。

武蔵野市らしい効率的な行政運営を高く評価

やすえ清治議員(賛成)

自由民主クラブを代表し、平成14年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算の認定に賛成する。厳しい社会情勢の中、本市の財政状況は極めて健全であり、第三期長期計画第二次調整計画の優先事業の着実な進捗、及び経常経費の削減・合理化の推進による武蔵野市らしい効率的な行政運営を評価する。防災態勢の充実・強化、環境負荷の減少、心の教育を要望し、市民参加を基本とした更なる市政の前進を期待する。

安全な市民生活の実現に努めた適正な決算

小野正二議員(賛成)

市議会公明党を代表し、平成14年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算に賛成する。厳しい財政状況の中で、徹底した経費削減等により健全な財政を維持し、安全な市民生活の実現等、高い行政水準の維持に努めている。生活安全条例等の施行による子どもたちや市民の安全の確保、障害者雇用の推進、防災広場、レモンキャブ、ムーバ中央路線等の充実、ごみ減量化、まちの美化の一層の取り組み等に期待し、本決算の認定に賛成する。

市民とともにある市政運営を求む

川名ゆうじ議員(賛成)

民主・市民ネットを代表し、平成14年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算に賛成する。長引く不況の中、おおむね市民福祉のために適切な執行がなされたと評価するが、中学校給食の未実施、都内唯一の学童クラブの土曜日閉所、子ども施策、教育委員会交際費等については問題があると指摘したい。新たなアイデアの活用と新たな事業プラン創設のために、市民への正しい情報提供を要望し、決算の認定に賛成する。

市民生活を守る施策実施のための予算配分を

梶 雅子議員

(決算の認定に反対、水道事業会計決算の認定に賛成)

日本共産党武蔵野市議団を代表し、平成14年度武蔵野市決算の認定に反対し、特別会計及び企業会計決算の認定に賛成する。長引く不況で市民の暮らしが厳しい。党議員団は14年度予算執行について市民の暮らし優先の市政運営と予算執行を強く求めたが、子育て支援、教育、福祉、商工振興等で市民要求にこたえていない。交際費を初め、不急・不用品予算執行を市民本位の政策に転換することを強く求める。

市民の視点で、わかりやすい決算を

三宅英子議員

(決算の認定に反対、水道事業会計決算の認定に賛成)

平成14年度武蔵野市決算の認定に反対し、水道事業会計決算の認定に賛成する。医師会などへの補助金の支出に対する説明が不足している点、イベントやキャンペーンの効果についての検証がほとんどされていない点、財政援助出資団体や店舗支援事業「表わら帽子」などで赤字が多い点、またこれらに対する収支チェックが保育園などに比べて甘く、バランスが取れていない点などにより反対する。

市民の安全・安心に向けた事業を大いに評価する

桑津昇太郎議員(賛成)

市議会市民クラブを代表し、平成14年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算に賛成する。厳しい経済情勢の中、市財政の健全化が図られ、バランスのよい自治体経営がなされている。武蔵野市生活安全条例の制定や防災対策の充実など、市民の安全・安心に向けての事業等の成果を評価する。今回の議論を下半期の事業執行や来年度予算に生かしていただきたい。

問 阪神・淡路大震災から時間が経過し、年々防災意識が低下しているが、意識向上に向けて対策は。
答 防災協会等を通じ、最優先に取り組みのめとして可能な限りPRしていきたい。

問 独歩道に対応できる軽自動車等の導入を検討してはどうか。
答 現行のポンプ車で車幅はそれほど変わらず、対応できる。

決算に対する討論

九月二十六日の本会議で、七人の議員から、平成十四年度武蔵野市決算の認定について、平成十四年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について、の議案に対する討論が行われました。

防災意識の向上を

問 アンテナショップ表わら帽子の2号店出店に関する調査結果は。
答 すきつぷ通りと富士見通りで調査を実施したが、商品の差別化が困難なため、出店候補地としては難しいと考える。

問 相続等で農地が失われていくことに対し市の考えを伺う。
答 生産緑地の追加指定を受ければ相続税の納税猶予もあり、農地保存のため今年度も実施している。

問 消費生活センターへの昨年度の相談件数と主な相談内容を伺う。
答 千五百五件で、主なものは携帯電話等の出会い系・アダルトサイトの不当請求に関する相談だ。

農業・商工費

アツチ表わら帽子の2号店出店は

問 アンテナショップ表わら帽子の2号店出店に関する調査結果は。
答 すきつぷ通りと富士見通りで調査を実施したが、商品の差別化が困難なため、出店候補地としては難しいと考える。

問 相続等で農地が失われていくことに対し市の考えを伺う。
答 生産緑地の追加指定を受ければ相続税の納税猶予もあり、農地保存のため今年度も実施している。

問 消費生活センターへの昨年度の相談件数と主な相談内容を伺う。
答 千五百五件で、主なものは携帯電話等の出会い系・アダルトサイトの不当請求に関する相談だ。

消防費

問 阪神・淡路大震災から時間が経過し、年々防災意識が低下しているが、意識向上に向けて対策は。
答 防災協会等を通じ、最優先に取り組みのめとして可能な限りPRしていきたい。

問 独歩道に対応できる軽自動車等の導入を検討してはどうか。
答 現行のポンプ車で車幅はそれほど変わらず、対応できる。

PI 外環沿線協議会 早期再開への働きかけを

本間まさよ議員

問 国と都は、外環道路を大深度地下方式で建設する案を発表したのに続き、環境影響評価法に基づく手続を開始した。これは、住民参加のPI外環沿線協議会に諮ることなく行われたため、8月のPI協議会が延期になるなど、異常な事態が続いている。市長はPI協議会の再開、正常化に向けて努力すべきと考えるが、見解を求めます。

答 国や都への申し入れは構わないが、他市の委員にまで働きかける考えはない。

問 イトヨーカドーの自動車渋滞への対策を店舗や関係機関にも強く求めてほしい。

答 建物ができる段階から警察とも連携して指導している。今後も注目していきたい。

非核都市宣言を具体化し 市政に生かす

梶 雅子議員

問 核兵器も戦争もない平和な世界の実現のために、全国でもいち早く非核都市宣言をした本市として、非核平和条約制定や非核平和予算を計上し、コミセンで「原爆と人間」パネル写真展を開催するなど宣言を具体化することを求めるが、いかがか。

答 国家の安全については本市の権限外であり、条例制定や予算計上の考えはない。

問 女性の心と体を総合的に診療できる女性専用外来を求める市民は多い。日赤に運営費補助をし、開設を促していただきたい。

答 意見を申し上げ、働きかけていきたい。このほか、局地的豪雨による水害、サッカーくじ販売についての質問がありました。

耐震診断・耐震改修制度の改善を求める

向谷千鳥議員

問 本市の耐震診断・耐震改修助成制度は、同様の書類を何度も提出するなど手続が煩雑だが、申請方法の簡素化や市政センターでの取り扱いを検討すべきではないか。

答 申請方法を検討し、利用しやすいものにしていきたい。受付は専門性が必要であり、センターの取り扱いには難しいと考える。

問 三鷹駅北口下りエスカレーター、エレベーターの早期設置が望まれているが、設置のための事前調査の進捗状況を伺う。

答 平成18年設置に向け基本調査を本年度中に行い、16年度に設計に入る予定だ。このほか、小型軽消防車、高齢者高額医療費償還制度についての質問がありました。

市民の安全施策さらなる拡充を求める

小林清章議員

問 市民要望の多いホワイトイグルの終了時刻の延長、ブルーキャップの指導を行う地区の拡大等についての考えを伺う。

答 ホワイトイグルを18時まで延長するほか、ブルーキャップについては9月に市民の意見を聞く会を開催する予定だ。

問 色覚バリアフリーとして、船橋市のホームページでは、文字の拡大・縮小、背景色や文字色を各10色から自由に選べるが、本市でも導入を検討してはどうか。

答 それらを参考に、今後の本市のホームページ改善に生かしていきたい。このほか、少子化対策についての質問がありました。

ごみ減量への取り組み推進を

砂川なおみ議員

問 ごみ処理コストが多額となっている事実を市民に広くアピールし、ごみ減量を訴えるべきではないか。

答 制度や基準が厳しくなるほど処理費がかかるが、処理コストについて市民に向けて情報提供を積極的に行っていきたい。

問 ごみ減量と環境教育のため、小・中学生が使う上履きやジャージ等をリサイクル、リユースしやすいものにできないか。

答 以前から標準服を中心にリユースを行っている。ジャージ等を丈夫な材質にすることについては研究する。このほか、子どもの権利条約等についての質問がありました。

高齢者への虐待防止策を求める

金子 武議員

問 武蔵野市では高齢者への虐待をどのように把握しているのか。

答 高齢者福祉課のサービス調整担当職員と介護保険事業者の連絡会、デイサービス事業者等との連絡会などを通じた情報交換の中で把握している。

問 高齢者虐待に対応するSOSセンターのような仕組みを考えられないか。

答 虐待の実態の把握が難しいが、関係機関との情報交換を緊密にして、今後相談機関について研究していきたい。このほか、若年夫婦に対する家賃補助とベビーボーナス等についての質問がありました。

栄養バランスがよく 温かい中学校給食を

山本ひとみ議員

問 中学生の昼食は栄養のバランスの取れた食事が必要であり、給食の実施を求める。一中の弁当屋による昼食提供の実績を伺う。

答 一中の昼食提供は昨年11月から始めたが、校内販売利用者は10から15人程度だ。

問 政府税制調査会は中期答申で消費税率2けたへの引上げ等の増税路線を打ち出した。市長の評価と本市への影響を伺う。

答 市と関係する部分の方向性が決まったら議論したい。影響額は計算していない。このほか、保育園待機児ゼロ作戦に基づく保育計画の策定、ひとり暮らしの高齢者の安否確認、巨額の財政負担を伴う外環道路の必要性等についての質問がありました。

家族を考える事業の積極的なアピールを

与座 武議員

問 青少年犯罪や親が子を虐待する事件など、家庭が本来持っているべき機能が正常に作動していないのではないかと感じる人が多い。家族向けの事業等を、市民が家族について考えるために実施している事業として、積極的にアピールする必要があると考えるが、いかがか。

答 家族はこうあるべしというモデルの押し付けではなく、さまざまな事業を展開する中で、家族の大切さについて問題提起する取り組みを積極的に続けていきたい。このほか、鳥取県家族ふれあい自然体験事業等についての質問がありました。

歩きたくなる道への効率的転換を

松本清治議員

問 電柱地中化を効率的に進めるべきだが、自治体管路方式でメートル単価はいくらか。また、道路構造令上等の歩道幅を緩和し、末広通りなどの商店街でも実施できないか。

答 約30万円だ。場合により車道も使用できるので、必要に応じて地中化したい。

問 景観、アメニティ対策として、太陽光により青白色や黄緑色に点滅する点滅マークを道路に設置する「ホテル道事業」を行い、歩きたくなる道づくりを行ってほしい。

答 おもしろい提案だ。よく研究したい。このほか、道路工事箇所の決定スキームや工事の標準化、人にやさしいみちづくり事業の効果等についての質問がありました。

一般質問



第3回定例会1日目、2日目の9月2日、3日、市政全般について、19名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(11月下旬発行予定)または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第3回定例会分は11月25日登録予定)をご覧ください。

一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告を求め、または疑問をただすことをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます

<http://kensakusv.city.musashino.tokyo.jp/kaigiroku/>

職員採用の改革を

きくち太郎議員

問 経済の低迷や少子高齢化等を背景とする今、職員にもコスト意識や民間の視点などが求められるが、社会人採用を定期的に変更すべきでは、災害発生を考慮し、市内居住者の採用に一定の配慮をしているか。

答 以前実施したが、結局人によってそれぞれ異なる。公平公正な採用が大切だ。市内居住であっても特別な配慮はない。

問 小学校校庭の芝生化により、子どもが大いに遊べる環境が期待できる。所見は、

答 管理運営上の問題もあるが、それ以前に本市の校庭は非常によく利用されている。このほか、ジャンボリーにおけるトイレ衛生についての質問がありました。

子ども施策の将来に向けて

川名ゆうじ議員

問 国による次世代育成支援対策推進法の成立によって、地方自治体にはさらなる子ども施策の充実が求められているが、新たな次世代育成のための計画はあるのか。保育サービスや学童クラブ等について、現状分析のためのニーズ調査をすべきではないか。本市は、保育所待機児数について早急な対策を国から求められているが見解は、

答 既に優先事業として積極的に取り組んでいる。独自のニーズ調査をした。実態の議論が大切だ。認証保育所と認可外保育室を含めれば、定員にはまだあきがある。このほか、公立保育園の民営化、中学校の昼食等についての質問がありました。

基幹病院内に 女性専用外来の設置を

田辺あき子議員

問 女性には性差に基づく特有の疾患がある。市内の基幹病院内に女性医師の診断による女性専用外来の設置を求める。

答 武蔵野赤十字病院に対し今後の運営に取り入れられる可能性があるかどうか打診したい。

問 不登校、引きこもり等の児童・生徒に対し自宅に先生を派遣するホームスタディ制度の導入を提案するが、見解を伺う。

答 学校には訪問相談室を設置しており、相談や学習支援を通じて、児童・生徒が学校に復帰できるよう取り組みを続けている。このほか、特別支援教育のあり方等についての質問がありました。

子育て支援予算の適正な配分を

土屋美恵子議員

問 子育て支援について、予算の充実とあわせて使途の見直しも必要だが、所見は。保育園等職員の交通費は1カ月支給ではなく、民間のように6カ月定期の一括購入等が考えられないか。

答 全乳幼児の2割に当たる保育園入所児に予算の70%が使われている。残り3割の家保保育に対し、一時保育等の非定期的な保育や相談業務等を今後も積極的に展開していきたい。職員の通勤手当については、他市の状況もあり、全職員に対し今後6カ月定期を支給したい。このほか、生活道路の安全対策等についての質問がありました。

小・中学校インターネット教育の現状は

やすえ清治議員

問 最近インターネットを使った青少年犯罪が多発している。利用者のモラルが重要であり、情報リテラシー教育を充実すべきと考えるが、小・中学校におけるIT教育の現状は。また、教職員に対する指導・研修は行われているのか。

答 武蔵野市立小・中学校情報教育の基本方針を定め、児童・生徒に情報モラル等について指導している。教職員には研修会を実施し、情報モラル教育の指導資料を配布している。文部科学省作成の情報モラル指導事例集等も活用していきたい。このほか、住基カードの申請状況等についての質問がありました。

小・中学校の校庭芝生化を求める

桑津昇太郎議員

問 文部科学省の屋外教育環境整備事業により、全国の小・中学校のうち243校、都下では4校が校庭を芝生化した。芝生化の効果は、豊かな情操をはぐくむ。運動意欲の増進と体力向上。スポーツ技術向上。安全性向上。景観の向上等々である。また、校庭の芝生化は学校と地域をつなぐ格好の材料ともなる。学校の校庭を芝生化し、子どもたちに夢を与えることはできないか。

答 管理の難しさや管理費用、サッカー等には適すが野球などでは使いにくい等の問題があるので、今後研究していきたい。このほか、保育園・幼稚園園庭の芝生化、歩道橋撤去についての質問がありました。

外環道路特別委員会を設置

9月26日の本会議で、東京都計画街路(都市高速道路)外環環状線(以下「外環道路」)について調査・検討を行うために、外環道路特別委員会を設置されました。

同委員会の委員数は9名で、設置期限は平成17年6月定例会最終日までです。

外環道路は、昭和41年に「高架方式」で都市計画決定がされましたが、本市においては昭和42年6月に「外環道路反対特別委員会」を設置して以来、一貫して建設に反対の態度を貫いてきました。

この間、平成11年10月に石原都知事が、平成13年1月には扇前国土交通大臣が現地を視察し、その後、本年3月に国と都は外環道路を大深度地下方式で整備する方針を発表しました。

これを受けて本市議会は、大深度地下方式とい

う新しい方式が示された状況においては、外環道路について幅広い角度から調査・研究する必要があるため、特別委員会を設置することになりました。

なお、同委員会の委員は次のとおりです。

- 金子 武
- 小林清章
- やすえ清治
- 梶 雅子
- 鈴木有臣
- 大野まさき
- 桑津昇太郎
- 深沢達也
- 水野 学



外環オーブンハウスで展示された大深度方式の模型(南町コミュニティセンター)

(委員長、 は副委員長)

市民参加の学校づくり、公共施設づくりを

三宅英子議員

問 大野田小学校改築事業について、設計金額が三鷹市立高山小学校改築事業に比べ2倍近く高い理由は、指名プロポーザル方式で選んだ業者に設計を任せただけで、

答 施工業者を厳しく監視することを含めた適正な金額だ。早急な改築のため、自社ですべてできる総合設計事務所頼んだ。

問 今後、市の公共施設の建設事業に、市民の声を反映させるワークショップ方式を取り入れる考えはあるか。

答 まちづくり等ではよく取り入れるが建築物は責任を明確にする必要があり難しい。このほか、各種委員会・懇談会の情報公開等についての質問がありました。

市長は議会が外環「反対」では何が問題か

大野まさき議員

問 議会は、約束された外環道路反対特別委員会がいまだ未設置で、議会ルールがほごにされた異常事態である。市長は議会が設置を決めた委員会名から「反対」を取るよう求めたが、市長は議会が「反対」では何が問題なのか。PI外環沿線協議会等へ予告なく環境影響評価方法書が唐突に告示されたが、本市も他区市同様抗議すべきでは、

答 行政との一体的な取り組みが難しくなるためだ。地下方式による影響は最大の関心事であり、積極的な取り組みと考える。このほか、訪問相談室と保護者のつながりについて、学校の保護者会開催時の託児についての質問がありました。

治安情報の適切な提供を

島崎義司議員

問 昨年導入されたホワイトイグルは、本市独自の地域防衛システムとして効果を上げている。防犯や犯罪等への対応には情報の収集・提供機能が必要と考えるが、不審者などの防犯情報を、ホームページやメール、電話等により手軽に収集できるシステムをつくっては、地域に適宜適切な情報を提供するのは、効果はあるか。防犯カメラには犯罪抑止効果がある。プライバシーに考慮しつつ積極的な導入を求めるが所見は、

答 携帯電話やパソコンなど、リアルタイムの情報通信が発達しており、これらの活用を含め研究していきたい。さまざまな議論が必要だが、今後研究していきたい。



大野田小学校改築工事請負契約が今議会で可決され、9月19日から工事が始まりました。工期は平成17年3月18日までで、同年4月からは新しい校舎で授業が始まる予定です。

第3回定例会で可決された意見書は1件で、意見書については東京都へ提出されました。その要旨は次のとおりです。

【市長提出議案(10件)】
武蔵野市立大野田小学校改築工事請負契約...可決(全会一致)
武蔵野市立大野田小学校改築に伴う電気設備工事請負契約...可決(全会一致)
武蔵野市立大野田小学校改築に伴う空調換気設備工事請負契約...可決(全会一致)
武蔵野市立大野田小学校改築に伴う給排水衛生設備工事請負契約...可決(全会一致)
武蔵野クリーンセンター粗大ごみ処理施設更新工事請負契約...可決(賛成多数)
平成15年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回)...可決(全会一致)
ホワイトイーグルの巡回時間の延長などのため、総額8,322万2,000円を予算に追加するもの。
平成15年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回)...可決(全会一致)
平成14年度武蔵野三鷹地区保健衛生組合歳入歳出決算の認定について...認定(全会一致)
平成15年3月をもって解散した同組合の決算を地方自治法第292条の規定に基づき認定するもの。
平成14年度武蔵野市決算の認定について...認定(賛成多数)
平成14年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について...認定(賛成多数)

【議員提出議案(1件)】
食品安全基本条例(仮称)制定に関する意見書...可決(全会一致)

一、条例の基本理念として、市民の生命と健康を侵されない権利を明記すること。
二、生態系へも影響のある、遺伝子組み換え作物については、基本方針として環境に配慮した施策や、消費者の選択権の確保、検査体制の強化、国への提案を盛り込むこと。
三、食習慣や食文化を十分生かした都独自の安全基準や誘導基準を検討し、特に化学物質の蓄積性が問題となる子どもに対しては、十分な配慮をすること。
四、「食品安全情報評価委員会」の調査・勧告については、科学的な因果関係が不確定であっても積極的な措置を講じるなど予防原則(未然防止)を確立すること。
五、「食品衛生自主管理認証制度」を通じ、トレーサビリティを確立し、安全な食品の製造と流通を確保するとともに、都市農業を育成し、都内食品業者の水準を高めていくこと。
六、自治体が「監視指導計画」を策定する時は、地域の事情に合わせて計画に市民の意見が確実に反映されるよう支援すること。

With you vol.7
ボランティアグループ「朗読奉仕の会むさしの」は、目の不自由な方のために、市報や「つながり」(心身障害者情報誌)などのさまざまな市の刊物をテープ録音し、郵送しています。この議会日より「声の議会だより」として、多くの方に配付されています。

議会ダイアル
自由民主クラブ TEL60-1884 FAX51-9444
民主・市民ネット TEL60-1889 FAX51-9587
市議会市民クラブ TEL60-1885 FAX51-9445
市議会公明党 TEL60-1887 FAX51-9479
日本共産党武蔵野市議団 TEL60-1888 FAX51-9485
市民の党 TEL60-1890 FAX51-9604
無会派議員(第7控室) TEL60-1886 FAX51-9469
無会派議員(第8控室) TEL60-1909 FAX51-9629
議会事務局
TEL 0422-60-1883
E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp
HomePage http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html

議案の審議(可決・認定)結果一覧
第3回定例会
【市長提出議案(10件)】
【議員提出議案(1件)】

全員協議会
9月5日に、武蔵野市用途地域等見直し原案について全員協議会が開催されました。市民から寄せられた意見や、今回新たに設けられた、敷地面積の最低限度等について説明がありました。

行政報告
平成14年(行ツ)第50号、(行ヒ)第52号固定資産評価審査決定取消請求上告・上告受理申立事件の決定について
9月4日の本会議で、平成6年に行われた土地評価がえに基づく課税を高額過ぎるとして、武蔵野市固定資産評価審査委員会へ審査請求をした原告が、同委員会の決定の取り消しを求めて争っていた裁判において、最高裁判所で上告が棄却され、同委員会が勝訴したという報告がありました。
個別収集への移行及び家庭ごみ有料化の検討について
9月26日の本会議で、ごみの個別収集については来年10月実施を前提に、2月から一部地域で試行する予定であること、家庭ごみ収集の有料化については、同じく来年10月を目途に検討を行うという報告がありました。

陳情審議結果
取り下げ
外環道路反対特別委員会設置に関する陳情
ブルーキャップによる市民活動への妨害に関する陳情
不採択
武蔵野市議会において、外環道路反対特別委員会を存続させることに関する陳情
再選時の市長退職金を不支給とする条例制定に関する陳情
武蔵野市議会市政調査研究費の交付に関する条例の廃止に関する陳情
収入役廃止に向けて地方自治法の設置義務の行政指導変更を求める運動に関する陳情
市内通過交通を制限し、自動車の道路建設計画廃止を求める運動に関する陳情
議会運営委員会の内規廃止に関する陳情
外環道路反対特別委員会を継続して設置することに関する陳情
武蔵野三鷹ケーブルテレビとの関係の明朗化に関する陳情
ゴミ箱の設置に関する陳情
継続分の不採択
教育基本法の改定反対に関する陳情
アメリカ合衆国における同時多発テロ事件を糾弾する決議の廃棄と事件の真相究明に関する陳情
武蔵野市原爆被爆者の会(けやき会)への運営助成金の支給に関する陳情
武蔵野市立小学校、中学校の学級定数を三十人とすることに關する陳情
浜岡原発停止に関する陳情
ほか十八件

鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会
正副委員長決まる
6月30日に設置された「鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会」が8月27日に開催され、正副委員長の互選が行われました。その結果、委員長に鈴木有臣委員が、副委員長に土屋美恵子委員が選ばれました。